

# 沖縄平和啓発プロモーション事業 質問書に対する回答書

令和7年5月20日

## 質問 1

仕様書1-(1) (1)次世代に継承するためワークショップの実施

実施想定地域として県内12クラス県外6クラスの記載がありますが、この地域で実施することだけが決まっているのか、地域内で実施する学校まで決定しているのか、どちらでしょうか？また、学校選定がこれからの場合は県の方から指定や紹介があるのか、募集式になるのかどちらを想定されているかご教示下さい。

## 答

現時点でワークショップの応募がある学校を一覧として提供致します。

実施校の決定にあたっては、スケジュールを考慮しながら、事業者と県との協議の上、実施校を選定することとなります。

選定にあたり、現在応募がある学校の範囲で選定することを前提としていますが、スケジュール等の都合上、実施校数が満たない場合は、県と事業者間で協議の上、新しい候補先を掘り起こす作業も事業者をお願いすることを想定しております。

## 質問 2

仕様書1-(1) (1)次世代に継承するためワークショップの実施

ワークショップ対象者 小・中・高・大学生。（1クラス又はグループ単位(30名程度)が望ましい）と記載がありますが、学校内での実施を想定されていますか？  
公民館やグループなど、学校教育外での実施も含まれるのでしょうか？

## 答

ワークショップについては、すべて学校内での実施を予定しておりますので、開催場所の確保は必要ありません。

### 質問3

仕様書3-(1) (1)ウ 実施規模

県外でのワークショップについて、都道府県の指定がありますが、実施する学校については、受託業者が各都道府県で受け入れ先を探し、調整する形でしょうか？  
それとも、沖縄県であらかじめ想定している学校等があるのでしょうか？

### 答

現時点でワークショップの応募がある学校を一覧として提供致します。

実施校の決定にあたっては、スケジュールを考慮しながら、事業者と県との協議の上、実施校を選定することとなります。

選定にあたり、現在応募がある学校の範囲で選定することを前提としていますが、スケジュール等の都合上、実施校数が満たない場合は、県と事業者間で協議の上、新しい候補先を掘り起こす作業も事業者をお願いすることを想定しております。

### 質問4

仕様書3-(3) ア朗読会の対象者

「各圏域（北部、中部、南部、宮古、八重山）の県民」と記載されていますが、これは各圏域から必ず参加者を確保する必要があるという意味でしょうか？  
それとも、各圏域にイベントのお知らせを周知し、参加希望者を募る形で問題ないという理解でよろしいでしょうか。

### 答

各圏域から必ず参加者を確保するものではなく、各圏域ごとにイベントのお知らせを周知し、参加希望者を募る形式を想定しております。